

## 「かわごえ産業フェスタ2023」出展報告

昨年、西部地域小委員会は、11月26日(土)～27日(日)に開催された「かわごえ産業フェスタ2022」に、「川越の地形を知ろう!」というタイトルで、具体的には「仮想3次元空間で再現した川越市及び市街を自由に歩き回りながら、川越の地形と成り立ちを実感してもらおう」という内容で出展しました。

本年も昨年に引き続き、「かわごえ産業フェスタ2023」に出展し、地域の方々との交流を通じて、地域の皆様に技術士会活動に対してご理解をしていただくことに努めました。なお、本年は、「川越城を偲んで」というタイトルで出展しました。

### 1. 開催概要

開催日時：2023年11月11日(土)～12日(日) 9時30分～16時

場 所：ウエスタ川越 2階 活動室2

出展タイトル：“川越城を偲んで”(3Dモデルによる再現の試み)

展示物：3DモデルをインストールしたPCとゲームコントローラー及びモニター、2セットを設置し、画面の操作機器は、PCキーボード及びゲームコントローラーで行いました。画面の操作はと説明は説明員が行ったが、来場者に簡単な操作で楽しんでいただくよう工夫しました。

説明員：3Dモデル作成者と説明員3名計4名



写真-1 来訪者への説明風景

### 2. 展示内容の概要

#### (1) 3Dモデルの簡単な紹介

現在の川越城付近の航空写真(写真-2)と、陰陽図(写真-4)を示しました。それらにより、土地の高低差(地形)を知ることができます。川越市博物館に展示されているジオラマから作成した昔の川越城の模擬航空写真(写真-3)から、堀に囲まれていたことが分かります。また、昔の川越城の陰陽図(地形)(写真-5)も展示し、川越城を偲んでいただくことに工夫をこらしました。

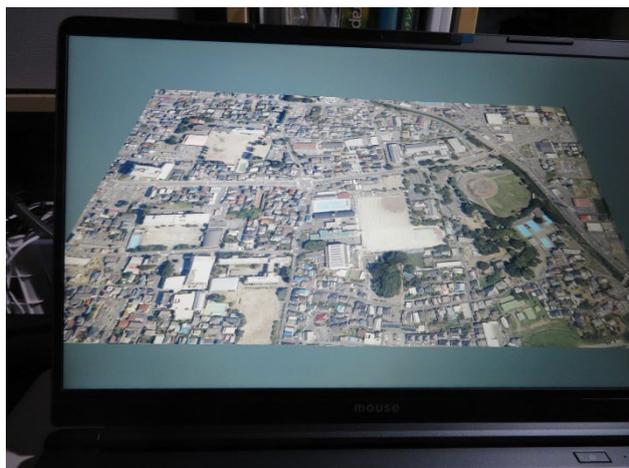


写真-2 川越城付近の航空写真



写真-3 昔の川越城の模擬航空写真

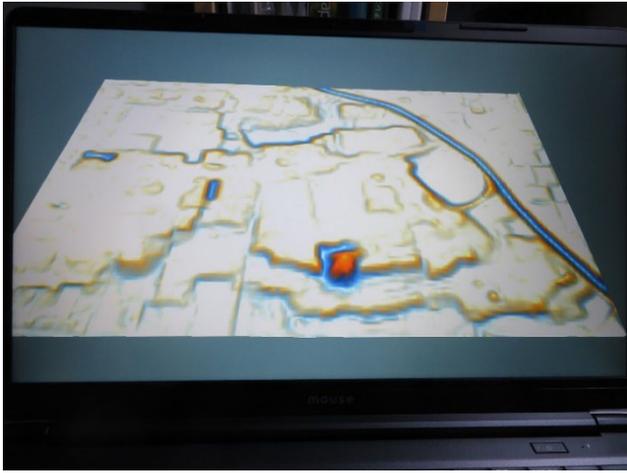


写真-4 陰陽図

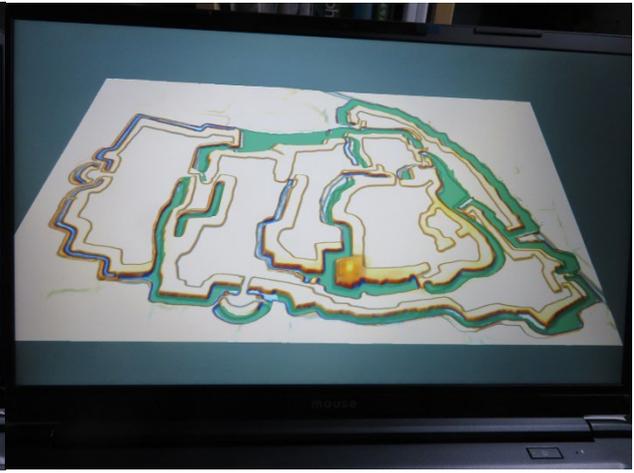


写真-5 陰陽図(昔の川越城)

これらの写真を見比べると堀は全て埋め立てられて昔の面影はありませんが、地形はほぼそのままであることが理解できます。また、写真-2 と写真-3から、昔の道路の何カ所かが、現在の街中に残されていることが、さらに、昔の外堀の一部は現在の新河岸川であることが分かります。

展示では、これらの3D モデル上の操作において、来場された方がご覧になりたい箇所に接近すると、昔の建物や道路、門などの状況を見ることができるので、来場された方々のご理解が得られたと考えています。また、本丸御殿の近くにある三芳野神社は童謡「とうりゃんせ・とうりゃんせ」の発祥の地と言われ、謎めいた歌詞に幾つもの解釈があることを知っていただけましたと思いました。

(2配布用展示物:

- ①埼玉県支部新パンフレット「技術の力で地域の発展に貢献」
- ②本部パンフレット「技術士って？～これが技術士の世界～」
- ③支部パンフレット「技術士はこんな支援活動ができます」
- ④支部パンフレット「技術問題でお困りのときは技術士へ」

### 3. 来場者数

2日間合計で、91名の方が来場されました。ご夫婦や親子連れの来場が多かったのですが、中には、お年寄り同士や若者同士での来場も見られました。

### 4. まとめ

昨年に引き続き「かわごえ産業フェスタ」に出展しましたが、地域の方々との交流を推進する契機となったと考えます。西部地域小委員会は、今後もこのような地域の方々との交流の場を設けることによって、技術士会活動に対する地域の方々のご理解をいただくよう努めていきたいと考えています。

(文責:近藤訓)